

横山岳

一億二千万人総登山者化計画推進の方法論として、「みんなで登ろう、ぼくのふるさと八百名山」を思いついた。46都府県から各17山づつ、北海道から18山選んで計八百山。日本には素晴らしい山がたくさんある、山に登って元気になろうとアピールすることで、きょうまで山に無関心だった人を、山に目をむけて貰おうと言う魂胆が、「ふるさと八百名山」にはある。

横山岳は滋賀県から選ぶ17山の内の一山だ。知る人ぞ知る湖北の名山と聞かされていて、一度登りたいと思っていた。「中高年と女性のための山の遠足」11月のメニューを考えていたとき、横山岳に行くことを決断した。小谷山も八百名山の一山と考えていたので、「11月9日(土)～10日(日) 湖北・小谷山と横山岳」という計画が、11月確定表に紹介された。

名も知られていない山へのお誘いは、その山を知らないのだから当然といえば当然の話しなのだが、集まりが悪い。本企画も一ヶ月前の申し込みはTさん1名で、社長から実施するの?、と疑問を投げかけられていた。一週間前にSさんが申し込んでくれて、2名になった。実施するよと、ようやく返事ができた。前日、突然Oさんが申し込んでくれて、3名になった。ぼくを含めて総勢4名が、北陸本線河毛駅に10時25分に集合、タクシーで登山口に上がった。

小谷山は、戦国武将・浅井長政と妻・お市の方の居城のあった山である。大河ドラマの舞台にもなった山と、直接説明すれば分かって貰えると思うが、月度確定表の2行ほどの記述ではピンとこない方が普通であると思う。100人参加して貰ってもよかったかなと思うくらいの、なかなかいいハイキングの一日であった。翌日は横山岳、南麓の集落、杉野の長治庵にタクシーで移動する。

小谷山があっさり片づいてしまったので、長治庵には3時に着いてしまった。チェックインは4時というので、しばし集落内をお散歩。言葉で表現するのが難しいのだが、実に落ち着きがあっていい集落なのだ。長治庵の雰囲気も品があっていい。料理も美味しい。ただ一つの気かりは明日の天気予報が芳しくないことだ。楽しくオシャレに過ごせた一日に大満足して布団にはいる。

10日、目を覚ますと雨。けっこうな降りなので、横山岳登山は中止を決断。朝食をゆっくり食べ、のんびり帰り支度をして9時17分のバスに乗って、木ノ本に出た。雨に煙る景色を眺めながら、来年、雪が消えたら再度横山岳を企画しよう、と思った。そのときも長治庵に泊まり、帰りがけの駄賃は金糞岳に登ろう。

横山厚夫さんがおっしゃる「山の発見」とは、これだなと気がついた。横山岳と金糞岳はハードだから、ソフトなメニューとしては、「小谷山と賤ヶ岳」がいい。我がことながらのグッドアイデアにニヤリ。登山は中止になったけれど、きょうもまたいい一日であった。